

八千代八福神 について

① 吉祥天

五穀豊穰など一切の福得を司る天尊で、藤原時代以降には毘沙門天の后とされた。ヒンズー教三大神の一つであるビシュの妃、梵名をシリ・マハー・デビーという。唐服の美しい姿である。

② 大黒天

梵名をマハー・カーラといい、マハーは大、カーラは黒暗の意なので大黒天という。自在天（シバ神）の化身といわれ、戦闘・財福・冥府の三神の性格を持つ。施福の善神として商家で尊信さる。

③ 福祿寿

中国の神。南極の化身といわれ、人望をあらわす。また福（幸福）と祿（高給）と寿（長寿）を授けるといふ。寿老人と団体異名という説もあり、七福神の中に寿老人を除き吉祥天を入れる例もあった。

④ 弁財天

弁才天とも書き、弁天ともいふ。梵名をサラスバチーといい、インドのサラスバチー河を神格化したもの。音楽・衣食住・財福をあたえ、天災地変を除滅する神。農耕の神としてよく水辺に祭られている。

⑤ 毘沙門天

四天王の随一、北の守護神、多門天のこと。梵名をバイシラバナといい、護国護法の神、福德財富の神、独尊としても尊崇さる。毘沙門天の腹部にある鬼面を海若（あまのじゃく）といい、本来水神のなごり。

⑥ 寿老人

寿老神とも書く。中国の長寿の神、老人星の化身、老子の化身ともいわれる。無病息災を守護し、毎年二月上旬の夜、地平線に出現するという。

⑦ 恵比寿

日本の固有神、イザナギノミコトの第三子蛭子尊、またはコトシラスシノカミの御子ともいわれる。辺境の海辺の異民族の神であったらしい。航海の神・漁業、商売繁盛の神として尊崇さる。

⑧ 布袋尊

中国の禪が生んだ福の神。五代のころ実在した契比という高僧の姿で、中国では弥勒仏の化身と信じられている。大量を表現し堪忍と和合を教えにくれる。